

ITEC、国際ワークショップ “The Comparative Research of Engineers” を開催

技術・企業・国際競争力研究センター (ITEC) は、組織におけるイノベーション創造のメカニズムを解明し、その持続的実現を可能とする人と組織のあり方を探求することを目標のひとつとしています。そして、そのような研究活動を通して優れた研究者の養成を目指しています。

2013年2月22日 (金)、23日 (土) に “The Comparative Research of Engineers” をテーマに、国際ワークショップを開催しました。ITECでは、主要な研究テーマの一つとして「企業の研究開発・技術開発に携わる技術者」に焦点をあてています。企業において、その持続的成長のためのイノベーションを生み出す最大の要素は「人」であることはよく知られています。その中でも、技術を成長の核とする企業においては、技術者はイノベーションの源泉です。この技術者の仕事、職場、職務成果等をさまざまな角度から研究するのが、このテーマであります。



今回のワークショップは2日間に渡って室町キャンパス寒梅館2階の教室で開催されました。第1日は6件の論文発表とそれらについての討議、第2日は技術者調査のデータ集計・解析に用いるツールの紹介および討議が行われました。参加者は総勢41名で、国内からの参加者が最も多いのですが、イギリス、フランス、フィンランドからも研究者をお迎えしました。昨年秋に叙勲 (旭日小授章) を受けられたDavid Cope先生 (現ケンブリッジ大学クエアホール終身会員、同志社大学ITEC客員フェロー、元同志社大学教授) にもご参加を頂きました。



特に、初日のITEC研究者 (教授、PD特別研究員、共同研究員) の発表に対する専門家よりのコメントは、鋭い指摘や質問であると同時に、今後の研究への重要なアドバイスになるものでした。更に、全員参加による活発な質疑応答もなされました。

今後のITECの技術者研究の内容が更に深まり、充実したものになることを確信することができたワークショップでした。

<同志社大学技術・企業・国際競争力研究センター (ITEC) >